

第2回日本放射線安全管理学会・日本保健物理学会合同大会プログラム

日時:2019年12月4日(水)~12月7日(土)

会場:東北大学青葉山新キャンパス 青葉山コモンズおよび
災害科学国際研究所多目的ホール

*****第1日目12月4日(水)*****

Joint JHPS-SRP-KARP Workshop of Young Generation Network

(災害科学国際研究所多目的ホール 10:00-17:30)

10:00-12:00IRPA YGN session

12:00-13:00Lunch break

13:00-17:30Technical session

*****第2日目12月5日(木)*****

災害科学国際研究所多目的ホール

10:00-10:30 開会式

10:30-11:45 招待講演

講演1 放射線防護分野における原子力規制委員会の取り組み

原子力規制委員 伴 信彦氏

講演2 Practicality, Common Sense and Value for Society

IRPA 会長 Roger Coates 氏

11:45-11:50 IRPA 15 (11-15 May, 2020, Seoul, Korea)の紹介

KARP 会長 W.Y. Park 氏

11:50-13:00 ランチョンセミナー

協賛:総務省生体電磁環境研究の周知事業

・電波の生体影響、国内外の電波防護の取組について

(一財)電磁界情報センター所長/「生体電磁環境に関する検討会」座長

大久保千代次氏

・現在実施中の総務省委託研究のご紹介

・次世代電波利用システムからの電波の人体安全性評価技術

・電波ばく露レベルモニタリングデータの取得・蓄積・活用

国立研究開発法人情報通信研究機構 電磁波研究所 電磁環境研究室
室長 渡辺 聡一氏

13:00-14:40 Dialogue between young professionals and Presidents

Keynote Speech : The Role of Professional RP Societies in developing RP

Professionals and Researchers SRP 会長 Pete Bryant 氏

14:40-15:00 コーヒーブレイク

15:00-17:00 International Special Session in 2019 hosted by JHPS

Improving risk communication with the public: What is the role
of the RP professionals?

17:00-17:20 コーヒーブレイク

17:20-18:00 招待講演

「科学と技術の今日を支え、明日を拓く巨大な顕微鏡、次世代放射光施設 SLIT-J」
光科学イノベーションセンター 高田昌樹氏

青葉山コモンズ 2F 大講義室(翠生ホール)

10:00-10:30 開会式 カメラ中継

10:30-11:45 招待講演 カメラ中継

13:00-14:30 一般発表セッション 1A1 環境放射線 (能) 1

座長: 杉原真司 (九大)

1A1-1 セシウム耐性土壌バクテリアの探索とそのセシウム吸収能

(広島大・院・理¹、広島大・N-BARD²) ○Triyono Basuki¹、稲田晋宣²、中島覚²

1A1-2 土壌から米への放射性セシウム吸収に及ぼす隣接する田の性質の違いとその経年変化

(広島大・院・理¹、広島大・N-BARD²) ○NGUYEN THANH HAI¹、辻本聖也¹、
宮下直¹、中島覚²

1A1-3 海水中放射性ストロンチウムの迅速測定法-イオン交換法による化学分離とプラスチックシンチレータボトルによる測定-

(日立製作所¹、慈恵医大・アイソトープ²、愛知医大³、名大アイソトープ総合センター分館⁴) ○加藤結花¹、箕輪はるか²、小島貞男³、緒方良至⁴

1A1-4 ストロンチウム吸着剤による海水中ストロンチウムモニタリングの可能性

(名大アイソトープ総合センター分館¹、日立製作所²、慈恵医大・アイソトープ³、
愛知医大⁴) ○緒方良至¹、加藤結花²、箕輪はるか³、小島貞男⁴

1A1-5 落ち葉、腐葉土、苔など環境試料中の放射性セシウム濃度の経年変化に関する基礎研究

(県立広島大・生命環境) ○加藤一生

1A1-6 福島県大柿ダム灌漑水の溶存態および懸濁態 ^{137}Cs の経時変化

(福島大学 IER) ○塚田祥文

14:30-14:40 コーヒーブレイク

14:40-15:40 一般発表セッション 1A2 環境放射線 (能) 2

座長：末木 啓介(筑波大)

1A2-1 福島のサクラ粗皮に付着したスポット状の放射性セシウム汚染の調査

(福島学院大短大¹、東北大 CYRIC²) ○杉浦広幸¹、渡部浩司²

1A2-2 取り下げ

1A2-3 大気輸送モデルと実測値を用いた日本周辺 Pb-210 降下量分布の評価

(名大・工¹、石川県保健環境センター²、環境研³) ○赤松慎也¹、山澤弘実¹、森泉純¹、河野隆史²、長谷川英尚³

1A2-4 The progress of environmental monitoring of ^{134}Cs and ^{137}Cs levels in Namie

(弘前大¹、琉球大²、量研機構³、原子力機構⁴) ○Mikl_s Heged_s¹、T. Ploykrathok¹、Y. Shiroma²、K. Iwaoka³、R. Yamada⁴、T. Tsujiguchi¹、M. Yamaguchi¹、T. Suzuki¹、K. Ogura¹、Y. Tamakuma¹、H. Tazoe¹、N. Akata¹、M. Hosoda¹、I. Kashiwakura¹、S. Tokonami¹

15:40-16:00 コーヒーブレイク

16:00-17:20 JRSM 企画セッション

放射線障害予防規程届出後の対応

環境研 大講義室

11:50-13:00 ランチョンセミナー

協賛：長瀬ランダウア株式会社

「OSL 線量計および水晶体線量計と線量評価」

13:00-14:30 一般発表セッション 1B1 線量評価 1

座長：赤羽恵一 (量研機構)

1B1-1 DTPA 投与時の内部被ばく線量評価に関する EURADOS 相互比較 (ICIDOSE 2017)

(量研機構) ○谷幸太郎、金ウンジュ、栗原治

1B1-2 VARSKIN による皮膚被ばく線量の計算・評価

(原子力機構) ○内田真弘、山崎巧、高田千恵、辻村憲雄

1B1-3 DICOM radiation dose structured report を用いた冠動脈 CT 撮影プロトコルにおける被ばく線量評価

(東北大・院・医 1、昭和大病院 2) ○峯岸健太郎¹、平野高望²、薄井裕美²、守屋克之²、佐藤久弥²、加藤京一²、千田浩一¹

1B1-4 放射性セシウムの慢性摂取による内部被ばく線量評価に対する体内動態モデル更新の影響

(原子力機構) ○真辺健太郎、佐藤薫、高橋史明

1B1-5 光子外部被ばくに対する年齢別実効線量と新しい実用量との相関

(原子力機構) ○佐藤大樹、高橋史明

1B1-6 我が国の原子力発電所における放射線業務従事者の被ばく光子エネルギーおよびジオメトリ分布について

(放射線影響協会) ○古田裕繁、西出朱美、工藤伸一、三枝新

14:30-14:40 コーヒーブレイク

14:40-16:00 一般発表セッション 1B2 線量評価 2

座長：谷幸太郎 (量研機構)

1B2-1 蛍光修飾オリゴヌクレオチドを用いた放射線による生体分子の損傷量評価手法に関する研究

(福井大・工¹、若狭エネ研²、大阪大・RIRC³、福井大原子力研⁴) ○松尾陽一郎¹、榊祐介¹、久米恭²、清水喜久雄^{3,4}、泉佳伸^{1,4}

1B2-2 300 kV 以上の高電圧の X 線管を用いた新しい線量校正場の開発

(産総研) ○石井隼也、黒澤忠弘、加藤昌弘

1B2-3 緊急時被ばくのための爪を用いた ESR/OSL 線量評価の感度向上

(広島大・原医研¹、Univ of Salzburg²) ○廣田誠子¹、Chryzel AB. Gonzales¹、Dicher Michael²、保田浩志¹

1B2-4 ガントリー型リニアックを用いた治療施設の漏えい線量評価の高度化

(近大・総合社会¹、日本アキュレイ²) ○小川喜弘¹、小林一之²

1B2-5 ロシア北部での核力巡航ミサイル爆発事故時の核分裂量の推計
(札幌医大) ○高田純

16:00-17:00 一般発表セッション 1B3 線量評価 3
座長：加藤昌弘 (産総研)

1B3-1 鉛防護眼鏡の遮蔽効果に関する検討：0.07mm 鉛当量と 0.75mm 鉛当量の比較
(東北大・院・医¹、仙台厚生病院²、東北大・災害科学国際研究所³) ○遠藤美芽、
芳賀喜裕²、阿部美津也²、加賀 勇治²、大友一輝¹、村林優樹¹、稲葉洋平³、
千田浩一¹

1B3-2 散乱線を含む高 γ 線場における不均等被ばく時の水晶体等価線量評価
(藤田医大¹、原子力機構²) ○山頭匡治¹、辻村憲雄²、星勝也²、青木克憲²、
谷村嘉彦²、吉富寛²、横山須美¹

1B3-3 体幹部不均等被ばくと複数バッジ着用の基準について
(原子力機構¹、藤田医大²) ○辻村憲雄¹、横山須美²

1B3-4 MOX 燃料施設における水晶体及び末端部の中性子線・ γ 線被ばく評価
(原子力機構) ○大津彩織、内田真弘、坪田陽一、中川貴博、川崎位

青葉山コモンズ 2F 講義室 1

13:00-14:30 一般発表セッション 1C1 福島事故 1
座長：保田浩志 (广大)

1C1-1 福島第一原発事故時の小児における避難パターンと吸入による甲状腺等価線量の再
評価
(福島医大¹、原子力機構²、弘前大³、国際医療福祉大⁴) ○大葉隆¹、石川徹夫¹、
永井晴康²、床次眞司³、長谷川有史¹、鈴木元⁴

1C1-2 福島事故後の水道水の経口摂取による内部被ばく線量の推定
(三菱総研¹、国際医療福祉大²) ○宮武裕和¹、河合理城¹、義澤宣明¹、鈴木元²

1C1-3 福島県の一般市民が 2012 年春に着用したマスクから採取された不溶性セシウム粒
子
(東大・院・理¹、東大 RIC²) ○森井志織¹、鍵裕之¹、桧垣正吾²

1C1-4 福島第一原子力発電所周辺の住家内で着用したマスクに付着した放射性セシウム含
有不溶性微粒子
(東大 RIC¹、東北大・院・薬²、産総研³) ○桧垣正吾¹、吉田浩子²、篠原直秀³

1C1-5 福島第一原子力発電所2号機原子炉建屋内作業における放射線管理について
(東京パワーテクノロジー) ○佐藤穂積、山田裕次、志賀学

1C1-6 放射線輸送コード PHITS を用いた野生動物の被ばく線量の推定
(東北大・院・理) ○小野拓実、木野康志、奥津賢一、山下琢磨、関根勉

14:30-14:40 コーヒーブレイク

14:40-16:10 一般発表セッション 1C2 福島事故 2

座長：桧垣 正吾 (東大)

1C2-1 1FNPP 事故後環境線量率長期予測 (Kinase ら 2017) に関わる補足的検討
(元・原研¹、豊田放射線研究所²、洗練課題研究所³) ○熊澤蕃¹、豊田亘博²、
加藤和明³

1C2-2 キノコ菌糸体中のセシウム挙動のトレーサー実験による評価
(近大・院¹、原子力機構²) ○西小野華乃子¹、坂本文徳²、香西直文²、
山西弘城¹

1C2-3 旧避難指示区域に所在する立木の樹皮中放射性セシウム濃度推定手法
(日本環境調査研究所) ○大木雅仁

1C2-4 旧避難指示区域に所在する森林内の空間線量率推定手法
(日本環境調査研究所) ○大木雅仁

1C2-5 大気拡散モデルによる福島原発事故大気中濃度・沈着量分布再現性の検討
(名大・院・工) ○山澤弘実、足立振一郎、中村真隆、森泉純

1C2-6 特定復興再生拠点区域における空气中放射性セシウムの調査結果について
(原子力機構) ○阿部智久、舟木泰智、吉村和也、眞田幸尚

16:10 -17:00 一般発表セッション 1C3 現場の保健物理/管理・保全

座長：矢永誠人 (静岡大)

1C3-1 表面汚染検査におけるサーベイメータの走査速度と汚染検知の関係
(原子力機構) ○高橋映奈、坂下慧至、柴浩三、吉田忠義

1C3-2 HP-Ge 検出器を用いた重粒子線治療装置部品の放射化量 (放射能濃度) 評価
(帝京大・院・保健¹、放医研²) ○緒方凌征¹、米内俊祐²、松本真之介²、
川村慎二¹

1C3-3 シクロデキストリン添加による活性炭ヨウ素吸着能の変化について
(信州大・基盤研究支援センター¹、東大 RIC²、熊本大・院・生命³、シクロケム

4) ○廣田昌大¹、桧垣正吾²、伊藤茂樹³、石田善行⁴、寺尾啓二⁴

青葉山コモンズ 2F 講義室 2

11:50-13:00 学生勉強会

13:00-14:30 一般発表セッション 1D1 放射線計測 1

座長：柴田理尋（名大）

1D1-1 放射線事故時における ESR/EPR 線量計測による低線量被ばく線量評価の検討

（熊本大・生命資源¹、長崎大・原研²）○島崎達也¹、横田賢一¹、川原修¹、白石善興¹、松田尚樹²、岡田誠治¹

1D1-2 東海再処理施設における γ 線スペクトロメトリによる γ 線測定器の性能評価

（原子力機構）○坂下慧至、高橋映奈、吉田忠義、柴浩三

1D1-3 新方式波長分解分析型光ファイバー放射線分布センシング法の開発

（原子力機構¹、名大・工²）○寺阪祐太¹、渡辺賢一²、瓜谷章²、山崎淳²、佐藤優樹¹、鳥居建男¹、若井田育夫¹

1D1-4 廃炉や廃止措置における空気中放射性物質濃度のその場測定に向けた α 線用ダストモニタの要素技術開発

（原子力機構¹、弘前大²）○坪田陽一¹、本田文弥¹、中川 貴博¹、川崎位¹、池田 篤史¹、玉熊佑紀²、床次真司²、百瀬琢磨¹

1D1-5 医療施設における α 線スペクトルサーベイメータの実用化に向けた放射線輸送計算の活用

（首都大・院・人間健康科学¹、量研・高度被ばく医療センター²）○成田真人^{1,2}、谷幸太郎²、栗原治²、井上一雅¹、福士政広¹

1D1-6 深層学習による少数投影からの放射能分布推定

（阪大・院・工）○山内亮太、玉置真悟、日下祐江、真鍋勇一郎、秋山庸子、佐藤文信、村田勲

14:30-14:40 コーヒーブレイク

14:40-16:00 保物企画セッション

自然放射性核種を含む廃棄物の放射線防護に関する専門研究会

16:00-17:30 保物企画セッション

教育現場での低エネルギーX線に対する安全管理

18:40-20:30 懇親会(キッチンテラスクルール)

*****第3日目12月6日(金)*****

災害科学国際研究所多目的ホール

9:30-10:30 規制研究セッション

座長:中島覚(広島大)

短寿命アルファ核種等の安全規制のガイドライン

(大阪大)○吉村崇

短寿命放射性核種の安全取扱のための教育資料

(北海道大)○久下裕司

大学間ネットワークによる従事者管理の統一化

(東北大)○渡部浩司

アンブレラ事業における人材育成

(量研機構)○神田玲子

総合討論

12:00-13:00 ランチョンセミナー

協賛:株式会社千代田テクノ

「もし明日同じ事故が起きたら～福島事故を経験した一般医療者からみた我が国の放射線防護文化の今と未来～」

講師:長谷川有史氏(福島医大)

13:00-14:00 招待講演

「災害時の病院機能継続を考える(病院BCP)」

東北大学災害科学国際研究所 佐々木宏之氏

環境研 大講義室

9:30-10:30 保物企画セッション

放射線安全文化の醸成に関する専門研究会

青葉山コモンズ 2F 講義室3

13:00-14:00 一般発表セッション 2B1 ラドン・トロン 1

座長:平尾茂一(福島大)

2B1-1 日本の亜熱帯島嶼地域沖縄で観測された鍾乳洞滴下水中ラドン濃度と降水量の関係
(琉球大・院・理¹、弘前大・医²) ○伊志嶺聡伸¹、仲宗根峻也¹、城間吉貴¹、
赤田尚史²、古川雅英¹

2B1-2 ラドンをを用いた屋内換気率の推定方法の検討
(福島医大¹、量技研²) ○反町篤行¹、サファー サラタ クマール²、大森康孝¹

2B1-3 エアロゾル粒子とラドン壊変生成物の粒径分布の関係
(福島医大) ○反町篤行

2B1-4 インドネシア・マムジュにおけるラドンの高濃度化の要因調査
(弘前大¹、BATAN²、原子力機構³、電中研⁴、量研機構⁵、琉球大⁶、北科大⁷、
広島大⁸) ○細田正洋¹、Eka Djatnika Nugraha^{1,2}、Miki Arian Saputra^{1,2}、赤田
尚史¹、山田椋平³、佐々木道也⁴、玉熊佑紀¹、鈴木崇仁¹、岩岡和輝⁵、古川雅英⁶、
真田哲也⁷、山口平¹、吉永信治⁸、Abarrul Ikram²、柏倉幾郎¹、床次眞司¹

14:00-15:00 一般発表セッション 2B2 ラドン・トロン 2

座長:反町篤行(福島医大)

2B2-1 Validation of Can Technique to Measure the Exhalation Rates of Radon and
Thoron from Soil Sample

(弘前大) ○Miki Arian Saputra、Yuki Tamakuma、Masahiro Hosoda、Shinji
Tokonami

2B2-2 Behavior Analysis of Radon in the water in Extremely High Background
Radiation Area at Indonesia

(弘前大¹、BATAN²、原子力機構³) ○Eka Djatnika Nugraha¹、Masahiro
Hosoda¹、Nurokhim²、Yuki Tamakuma¹、Ryohei Yamada³、Naofumi Akata¹、
Shinji Tokonami¹

2B2-3 コンタクトレンズケースを用いた小型パッシブ型ラドンモニタ

(弘前大¹、量研機構²) ○玉熊佑紀¹、鈴木崇仁¹、渡辺裕貴¹、岩岡和暉²、ミロ
ソラフ ヤニック²、ポロイクラトク タマボーン¹、エカ ジャトニカ ヌグラハ¹、
細田正洋¹、床次眞司¹

2B2-4 室内空气中短寿命ラドン壊変生成核種の付着成分・非付着成分の移行フラックスの
定量的評価

(名大・院・工) ○浅井智貴、森泉純、山澤弘実

15:00-16:15 一般発表セッション 2B3 リスクコミュニケーション

座長:佐瀬卓也(核融合研)

2B3-5 リスク認知の変容に関する情報論的考察

(福山大) ○占部逸正

2B3-1 福島第一原子力発電所事故後の Public Understanding (科学の公衆理解) の取り組みに関する専門研究会の活動概要について

(福島県立医科大¹、原子力機構²、産総研³、東北大⁴) ○黒田佑次郎¹、河野恭彦²、迫田晃弘²、内藤航³、吉田浩子⁴

2B3-2 福島事故後に住民に提供された資料の分析とその評価方法の検討 ～SG1 の取り組み

(原子力機構¹、電中研²、国立保健医療科学院³、藤田医大⁴、福島医大⁵、福島県庁⁶、弘前大⁷、福井工大⁸、産総研⁹、東北大¹⁰) ○河野恭彦¹、服部隆利²、山口一郎³、横山須美⁴、中野裕紀、佐藤紀子⁶、工藤ひろみ⁷、野村直希⁸、迫田晃弘¹、内藤航⁹、黒田佑次郎⁵、吉田浩子¹⁰

2B3-3 福島原発事故後のリスクコミュニケーションの実践事例：コミュニケーション手段およびソフトスキルの観点からの分析 ～SG2 の取り組み

(産総研¹、福島医大²、原子力機構³、東北大⁴) ○内藤航¹、黒田佑次郎²、河野恭彦³、迫田晃弘³、吉田浩子⁴

2B3-4 福島事故前後で関連学会の社会に向けた活動はどのように変わったか～SG3 の取り組み

(原子力機構¹、福井工大²、産総研³、福島医大⁴、東北大⁵) ○迫田晃弘¹、野村直希²、内藤航³、河野恭彦¹、黒田佑次郎⁴、吉田浩子⁵

16:15-16:45 一般発表セッション 2B4 防護理論

座長：甲斐倫明（大分看科大）

2B4-1 大規模原子力事故における正当化・最適化原則

(高木学校) ○瀬川嘉之

2B4-2 増加と抑制の機能に関する線量管理と中性子過剰の間の類似性

(元・原研) ○熊澤蕃

17:00-17:30 JRSM 学術業績賞授賞式および受賞記念講演、若手奨励賞の授与式

青葉山コモンズ 2F 講義室1

9:30-10:30 保物企画セッション

実用線量・実効線量委員会及び国民線量委員会合同セッション

13:00-14:45 一般発表セッション 2C1 廃棄物

座長:大石晃嗣(日環研)

2C1-1 プルシアンブルーによる指定廃棄物中の放射性セシウム処理の高効率化に関する新しい知見

(京大¹、福島県環境創造センター²、MT アクアポリマー³、大阪産業大⁴) ○藤川陽子¹、国分宏城²、橋本芳²、村沢直治²、竹田健³、高橋展俊³、藤井明子³、谷口省吾⁴、尾崎博明⁴

2C1-2 除染廃棄物の濃度推定法の検討

(福井工業大学¹、ミリオン・キャンベラ²) ○野村直希¹、鈴木敦雄²

2C1-3 B4C を含有した塗料材による放射化量低減効果の検証

(安藤・間 建設本部技術研究所¹、極東産業²) ○田中聖一朗¹、奥野功一¹、竹内夕桐子²、田原隆志²、松田千恵²

2C1-4 粒子線治療用加速器の運転時の中性子発生量と放射化調査

(高エネルギー加速器研究機構) ○豊田晃弘、松村宏、吉田剛、榎本和義、西川功一、三浦 太一、別所光太郎

2C1-5 放射光施設の廃止措置に係わる放射化調査

(高エネルギー加速器研究機構) ○中村一、松村宏、吉田剛、豊田晃弘、榎本和義、西川功一、三浦太一、別所光太郎

2C1-6 加速器施設のコンクリート壁床に対する高感度測定法による放射化調査

(高エネルギー加速器研究機構¹、京大²、原子力機構³、神戸大⁴、理研⁵、JASRI⁶、分子研⁷、広島大⁸) ○松村宏¹、吉田剛¹、豊田晃弘¹、榎本和義¹、中村一¹、西川功一¹、三浦太一¹、別所光太郎¹、土田秀次²、松田誠³、谷池晃⁴、石岡純⁵、花木博文⁶、林憲志⁷、沢田正博⁸

2C1-7 放射線イメージングによる加速器廃止措置時の電磁石放射化判定についての基礎的検討

(高エネルギー加速器研究機構) ○吉田剛、松村宏、榎本和義、三浦太一、豊田晃弘、中村一、西川功一、別所光太郎

14:45-16:15 一般発表セッション 2C2 医療被ばく 患者被ばくほか

座長:伊藤 茂樹(熊大)

2C2-1 日本における小児 CT 検査で患者が受ける線量の変遷に関する文献的調査

(大分県立看護科学大) ○恵谷玲央、児玉百華、甲斐倫明

2C2-2 胸部ガラスバッジ測定結果と患者被ばく情報を用いた画像下治療術者水晶体被ばく線量の推定

(東北大・院・医¹、那須赤十字病院²) ○増渕裕介¹、千田浩一¹、中野繁明²、山下明²、水沼仁孝²

2C2-3 日本人型乳児ファントムを用いた腹部—骨盤部 CT 検査時の臓器線量評価

(名大・院・医¹、愛知医大病院²、テクノラド³、愛知県がんセンター⁴) ○川浦稚代¹、藤井啓輔¹、山内雅人²、今井國治¹、池田充¹、奈良井和宏³、清水秀年⁴

2C2-4 ICRP 勧告に基づく職業被ばくにおける水晶体線量限度の取入れに関する国外動向調査

(東京医療保健大学大学院¹、東京医療保健大学²、国立保健医療科学院³、産業医科大学⁴) ○狩野真利¹、小野孝二²、山口一郎³、樺田尚樹⁴、嶋谷圭一²、熊沢貴史¹

2C2-5 ポータブルX線撮影における撮影条件に関する調査・検討

(東北大・医・保健¹、東北大・院・医²、東北大・災害科学国際研究所³) ○大友一輝¹、安部圭亮¹、小野寺真奈¹、鈴木友裕¹、高橋拓己¹、一ツ木康晶¹、遠藤美芽²、村林優樹²、稲葉洋平^{1,3}、千田浩一^{1,3}

2C2-6 術者の水晶体線量測定に用いる小型線量計の特性評価

(金沢大・保健) ○松原孝祐、小川善紀、Thunyarat Chusin

16:15-17:15 一般発表セッション 2C3 法規制・標準化

座長: 占部 逸正(福山大)

2C3-1 放射線業務従事者の特殊健康診断のあり方に関する検討～概要とアンケート調査結果について

(原子力安全研究協会¹、東大²、京都医療科学大³、東京医療保健大⁴、東京理科大⁵) ○山本尚幸¹、杉浦紳之¹、飯本武志²、大久保靖志²、大野和子³、酒井一夫⁴、高嶋 隆太⁵、米原英典¹

2C3-2 放射線業務従事者の特殊健康診断のあり方に関する検討～海外調査について

(原子力安全研究協会¹、東大²、京都医療科学大³、東京医療保健大⁴、東京理科大⁵) ○杉浦紳之¹、山本尚幸¹、飯本武志²、大久保靖志²、大野和子³、酒井一夫⁴、高嶋 隆太⁵、米原英典¹

2C3-3 密封されていない放射性同位元素使用施設における半減期が非常に長い放射線を放出する同位元素の法解釈の検討

(阪大・放射線科学基盤機構¹、阪大 DASH²、阪大 RCNP³) ○鈴木智和¹、高橋賢臣²、青井考³

2C3-4 測定の不確かさに係る独国の放射線防護勧告の放射線安全規制への適用の問題点
(電中研) ○服部隆利

青葉山コモンズ 2F 講義室2

9:30-10:10 保物企画セッション

放射線リスク・防護研究基盤

13:00-14:30 一般発表セッション 2D1 防災・緊急時対応

座長:山西弘城(近大)

2D1-1 高機動性モニタリングシステムの開発①

(静岡県監視セ¹、ミリオンテクノロジーズ・キャンベラ²) ○若松雄二¹、松本昌直¹、鈴木敦雄²、武藤儀一²、エレヌ・ルフェーブル²

2D1-2 高機動性モニタリングシステムの開発②

(ミリオンテクノロジーズ・キャンベラ¹、静岡県監視セ²) ○鈴木敦雄¹、武藤儀一¹、エレヌ・ルフェーブル¹、若松雄二²、松本正直²

2D1-3 海上観測データを用いた放射性核種放出量推定手法の確立と最適な観測地点の選定

(神戸大・院¹、気象庁気象研²) ○梅川修輔¹、足立遼太¹、金崎真聡¹、梶野瑞王²、小田啓二¹

2D1-4 核燃料サイクル工学研究所 プルトニウム燃料第二開発室の管理区域内における汚染について (1)事象の概要

(原子力機構) ○磯崎航平、田村健、吉田忠義、中川貴博、川崎位、百瀬琢磨

2D1-5 核燃料サイクル工学研究所 プルトニウム燃料第二開発室の管理区域内における汚染について (2)放射線管理上の問題点と対策

(原子力機構) ○田村健、磯崎航平、吉田忠義、中川貴博、川崎位、百瀬琢磨

2D1-6 核燃料サイクル工学研究所 プルトニウム燃料第二開発室の管理区域内における汚染について (3)身体汚染措置要領書の改善

(原子力機構) ○吉田忠義、磯崎航平、田村健、中川貴博、川崎位、百瀬琢磨

14:30-16:00 一般発表セッション 2D2 放射線教育

座長:北実(鳥取大)

2D2-1 放射線診療従事者への仮想現実技術を利用した放射線防護教育の実践

(九大・院・医¹、福岡労衛研²、福岡記念病院³、福岡赤十字病院⁴、古賀病院²¹)
○藤淵俊王¹、上田昂樹²、門柳紗妃³、上野大輝⁴、中村千裕⁵

2D2-2 緊急モニタリングプラットフォーム構築のための教育研究プログラム・全国公募型
フィールドモニタリングセミナーの試みとその教育効果

(長崎大・原研) ○松田尚樹、林田りか

2D2-3 医学教育における放射線健康リスク科学教育人材養成プログラムの開発

(長崎大・原研¹、長崎大・医²、広島大・医³、福島県立医大・医⁴) ○松田尚樹¹、
浦田芳重²、永安武²、栗井和夫³、大津留晶⁴

2D2-4 役割演技法を取り入れた放射線学習指導案の開発と実践 -食品検査と風評被害-

(弘前大・院・保健¹、弘前大・被ばく研²、弘前大・教³) ○小倉巧也¹、清水真
由美²、辻口貴清¹、鈴木陸生³、長南幸安³、床次真司²

2D2-5 教育現場への放射線安全周知活動報告

(大阪府立大¹、国立保健医療科学院²、原子力機構³、東大・環安本部⁴、福井県志
比小⁵、札幌白石中⁶、長崎大付属中⁷、ケニス⁸、島津理化⁹、放射線教育フォーラ
ム¹⁰) ○秋吉優史、山口一郎²、橋本周³、飯本武志⁴、小鍛冶優⁵、森山正樹⁶、前田
勝弘⁷、若巧倫⁸、増子寛⁹、田中隆一¹⁰、宮川俊晴¹⁰

2D2-6 RI 研究に関する各種情報コンテンツの作成 ～リテラシーに応じた段階的な知識習
得のために～

(日本アイソトープ協会) ○津國浩之、北岡麻美、中村伸貴、山下孝

16:00-17:00 保物企画セッション

放射線防護標準化委員会活動報告

*****第4日目 12月7日(土)*****

災害科学国際研究所多目的ホール

9:15-10:00 保物企画セッション「水晶体防護にかかる医療における課題」

座長：横山須美（藤田医大）

講演 原子力規制庁(調整中)

講演 千田浩一氏(東北大学災害科学国際研究所)

10:00-10:15 コーヒーブレイク

10:15-11:30 DRLs2020 改定に向けての現状報告

11:30-12:00 大会賞表彰式・閉会式

青葉山コモンズ 2F 大講義室(翠生ホール)

9:15-10:45 一般発表セッション 3A1 医療被ばく 従事者被ばく

座長:川浦稚代(名大)

3A1-1 放射線診療従事者の被ばく低減のための空間線量率マップの作成

(新潟大・医歯学総合病院¹、東北大・院・医²、川崎医療福祉大³、福井大⁴、新潟医療福祉大⁵) ○新田見耕太^{1,2}、千田浩一²、竹井泰孝³、小林育夫⁴、吉田秀義⁵、能登義幸¹、布施真至¹、深谷貴広¹、宮澤幸太郎¹

3A1-2 整形外科領域における Balloon kyphoplasty 施術中の術者およびスタッフの被ばく線量評価と放射線防護策についての考察

(東京医療保健大学大学院¹、東京医療保健大学²、国立保健医療科学院³、産業医科大学⁴) ○熊沢貴史¹、小野孝二²、山口一郎³、樺田尚樹⁴、嶋谷圭一²、狩野真利¹

3A1-3 複数回の CT 検査を受けている小児の検査理由の分析—同一 ICD コードによる違い—

(新別府病院¹、東京医療保健大²、国立成育医療研究センター³、大分県立看護科学大⁴) ○吉武貴康¹、小野孝二²、北村正幸³、宮寄治³、甲斐倫明⁴

3A1-4 Dual energy CT の撮影線量と検出能の評価

(金沢大・保健) ○秦美鈴、松原孝祐、小川善紀

3A1-5 CT の線量シミュレーションにおける各種パラメータの最適化について

(金沢大・保健) ○杉沢綾香、松原孝祐

3A1-6 嚥下造影検査における従事者被ばくの評価

(金沢大・保健) ○小林あかね、松原孝祐、Thunyarat Chusin

青葉山コモンズ 2F 講義室3

9:15-11:00 一般発表セッション 3B1 環境放射能 トリチウム

座長:永岡美佳(原子力機構)

3B1-1 環境試料中トリチウム分析のための前処理法の簡素化

(環境研¹、弘前大²、福島大³) ○柿内秀樹¹、長谷川英尚¹、植田真司¹、赤田尚史²、平尾茂一³、久松俊一¹

- 3B1-2 沖縄県における降水のトリチウム、水素・酸素安定同位体および化学組成の特徴
 (琉球大・院¹、琉球大²、核融合研/総合研究大学院大³、弘前大⁴、環境研⁵、北海道科学大⁶) ○仲宗根峻也¹、伊志嶺聡伸¹、中村夏織¹、石津裕二¹、城間吉貴²、田中将裕³、赤田尚史⁴、柿内秀樹⁵、真田哲也⁶、古川雅英²
- 3B1-3 福島県浜通りの大気中トリチウム濃度の測定と変動解析
 (福島大・環境放射能研¹、環境研²、九州環境管理協会³、九大⁴、弘前大⁵、核融合研⁶、藤田医大⁷) ○平尾茂一¹、柿内秀樹²、玉利俊哉³、島長義³、杉原真司⁴、赤田尚史⁵、田中将裕⁶、横山須美⁷
- 3B1-4 海産物中トリチウムの迅速分析法の改良
 (原子力機構) ○桑田遥、御園生敏治、藤原健壯、北村哲浩
- 3B1-5 北海道札幌市で採取された降水のトリチウム濃度
 (弘前大¹、核融合研²、琉球大³、University of Pannonia⁴、北海道科学大⁵) ○赤田尚史¹、岩田智恵²、田中将裕¹、古川雅英³、細田正洋¹、Kovacs Tibor⁴、真田哲也⁵
- 3B1-6 北海道二股温泉鉱泉水の起源と地下水流動機構の特性
 (北海道科学大¹、弘前大²) ○真田哲也¹、赤田尚史²、細田正洋²、床次眞司²、佐々木恒平¹
- 3B1-7 魚介類試料中トリチウムのスクリーニング測定法の検討
 (九州環境管理協会) ○玉利俊哉、島長義

青葉山コモンズ 2F 講義室1

9:30-11:00 一般発表セッション 3C1 その他、放射線影響・リスク解析

座長：佐々木道也（電中研）

- 3C1-1 放射線施設を対象とした安全文化の醸成に関する意識分析 3—組織ごとの現状分析から見る管理者意識の差異
 (東大・院・新領域¹、横浜薬科大²、日本アイソトープ協会³、東大・環安本部⁴)
 ○小池弘美¹、加藤真介²、二ツ川章二³、飯本武志⁴
- 3C1-2 男性放射線業務従事者における累積線量群別成人期の体重増加と生活習慣との関連
 ((公財)放射線影響協会 放射線疫学調査センター) ○西出朱美、工藤伸一、吉本恵子、古田裕繁、三枝新
- 3C1-3 日本の放射線業務従事者を対象とした疫学調査におけるインフォームド・コンセント
 ((公財)放射線影響協会 放射線疫学調査センター) ○吉本恵子、石沢昇、三枝新

3C1-4 地層処分安全評価における ICRP pub.122 の適用

(原子力発電環境整備機構) ○山田基幸、石田圭輔、藤崎淳、藤山哲雄、石黒勝彦、梅木博之

3C1-5 統計的有意性に依存したリスク評価の弊害について

(NPO 市民科学研究室) ○永井宏幸

3C1-6 原発等核施設労働者の疫学研究に関する考察

(NPO 市民科学研究室) ○永井宏幸

青葉山コモンズ 2F 講義室2

9:30-11:00 一般発表セッション 3D1 放射線教育

座長：中島裕美子（九大）

3D1-1 リアルタイム対話型ツールの看護職及び一般人放射線教育への導入の試み

(量研高度被ばく医療センター¹、量研放医研人材育成センター²) ○立崎英夫¹、松井陽子²

3D1-2 教育用放射線測定器の利用と値づけに関する考察①-学校教育における放射線測定器の役割と期待-

(日本原子力文化財団事業部¹、日本科学技術振興財団人財育成部²、東大・環安本部³、日本遮蔽技研⁴、東北大⁵) ○真壁佳代¹、掛布智久²、飯本武志³、河野孝央⁴、中村尚司⁵

3D1-3 教育用放射線測定器の利用と値づけに関する考察②-新しい教育測定器の開発経緯とその特徴-

(日本科学技術振興財団人財育成部¹、東大・環安本部²、東北大³) ○掛布智久¹、飯本武志²、中村尚司³

3D1-4 教育用放射線測定器の利用と値づけに関する考察③-教育用測定器の値づけに求められる視点-

(東北大¹、日本遮蔽技研²、東大・環安本部³) ○中村尚司¹、河野孝央²、飯本武志³

3D1-5 教育用放射線測定器の利用と値づけに関する考察④-教育用測定器の値づけに関する試行実験-

(日本遮蔽技研¹、日本科学技術振興財団人財育成部²、東大・環安本部³、東北大⁴) ○河野孝央¹、掛布智久²、飯本武志³、中村尚司⁴

3D1-6 教育用放射線測定器の利用と値づけに関する考察⑤-教育用測定器の値づけの一般化と普及に関する論点-

(東大・環安本部¹、日本科学技術振興財団人財育成部²、日本原子力文化財団事業部³、日本遮蔽技研⁴、東北大⁵) ○飯本武志¹、掛布智久²、真壁佳代³、河野孝央⁴、中村尚司⁵